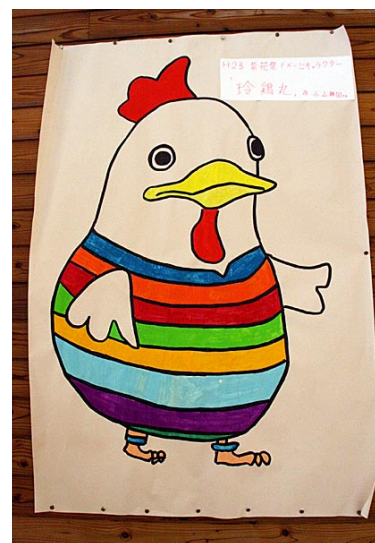




築地原の野沢菜畑

地域自治センターだより

平成23年/2011
11.16 | No.28 |



イメージキャラクター「玲鶏丸」

依田窪南部中学校・紫苑祭

れいろう 玲瓏～流れ輝く南中の虹～

9月30日、10月1日に依田窪南部中学校で第39回紫苑祭が開催されました。今年のテーマは「玲瓏～流れ輝く南中の虹～」。このテーマは、生徒会のスローガンである「虹～個性の色で虹を輝かせよう～」に呼応して「みんなの個性の色で美しく澄みきった虹を輝かせよう」という思いが込められています。

1日目は、総合学習の発表やステージ発表が、2日目は、意見文発表や合唱コンクールが行われました。各教室では、絵画や書道等の作品も展示され、生徒たちは友達の作品を真剣なまなざしで見学していました。

この日のために、生徒会役員を中心に計画、準備してきた全校生徒は、心を合わせて素晴らしい2日間を経験できたことでしょう。



第1回 たけし運動会

～やって楽しむ見て楽しむ～



武石ミニバレーボール教室の選手宣誓

10月2日、日頃のストレスを発散し、親睦を深め、健康的で楽しい秋の1日を過ごそうと、たけしスポーツクラブ主催による「第1回たけし運動会」が武石総合グラウンドで開催されました。当日は秋晴れの運動会日和。参加した約120人は、年代、性別、地域を越えスポーツで親睦を深めながら気持ち良い汗を流し、楽しい1日を過ごしました。



息の合ったキッズダンス



カゴを狙え！



足並みそろえてゴール！



じっくり狙って、お宝ゲット♪



8人リレー！！



力を合わせて♪



お父さんと一緒にだるまを救助



第22回 ともしびの里駅伝大会

～日本一の草駅伝を目指して～

大会結果

- 優勝 MJINGA (上田市) 1 時間19分50秒
- 準優勝 柏日体高等学校B (千葉県) 1 時間21分07秒
- 第3位 柏日体高等学校A (千葉県) 1 時間21分16秒
- 練馬区長賞 チームみやけん 1 時間38分13秒
(武石地域から参加した最上位チーム)

紅葉で色づき始めた武石の里を走る第22回ともしびの里駅伝大会が10月23日に行われ、県内外から過去最高の94チームが参加しました。
 今年は、特別招待ゲストにエスビー食品陸上部の上野裕一郎選手を迎え、上野選手は1区、5区までを走りました。
 毎年この駅伝大会を楽しみに参加するチームから初参加のチームまで、全チーム棄権することなく1本のタスキを最後までつなぎゴールしました。今年は2つの大会新記録が出るなど、ハイレベルな競走が繰り広げられました。自分の記録に挑みつつ、上野選手と一緒に走ったうれしさが伝わってくる大会でした。



上野選手(左)に質問！中央は総合司会のテレビ信州 藤原里瑛アナウンサー



4連覇でゴールしたMJINGAチーム



炬火は武石小学校「走れ5敬！」チーム

長寿を祝う ～ 武石地域敬老会 ～

9月10日、武石地域敬老会が武石公民館で開催され長寿のお祝いをしました。

式典では今年度88歳を迎える方と、99歳以上の方に市から長寿を祝福し敬老祝金が贈られました。

祝宴が始まると会場内では話に花が咲き元気な笑い声が聞こえてきました。

高齢者の皆さんは演芸を観たりお酒もいただいたり、楽しいひと時を過ごしていました。

また、9月20日には99歳になる小沢根の竹内ひろみさん宅を市長が訪れ、敬老祝金を贈呈しました。



木彫教室作品展

10月5日から10日まで、武石公民館で木彫教室作品展が開催されました。

木彫教室は、薮合の清住茂さんを講師に昭和56年に開講し、今年でちょうど30周年を迎えました。

今回30周年を迎えるにあたり、先輩会員の作品も含めて、約100点ほどの作品が展示されました。

来場者は「自分もこんな風に彫ればいいな」と話していました。



武石公民館だより

No. 28

問 武石公民館 TEL85-2030

ともしびの里文化祭

11月5日・6日の2日間、武石公民館で第40回ともしびの里文化祭が開催されました。武石地域の生涯学習グループやサークルの皆さんが制作した、手芸作品や木彫、陶芸などの工芸品、書道や絵画、盆栽、生花など約千点と、保育園児や小中学生の習字、絵画などが展示されました。来場者は、作品の出来栄えに感心しながら「上手いもんだね」と熱心に鑑賞していました。



【平成23年度 第6回 9月28日開催】

●「雲溪荘について」が実施されました。

地域協議会では、厳しい経営が続く雲溪荘について、これまでに事業団、行政、経営コンサルタントそれぞれの立場から、現状と課題、将来展望について

当事者による説明の機会を設けて検討を重ねてきました。この広報でも途中経過を紹介してきましたが、今回は、これまでの協議を踏まえて、委員一人ひとりの現段階での考えを出し合い、今後のあり方について協議を行いました。

委員からは、

- ・ いいお湯なので、料理やサービスを工夫して残してほしい。
- ・ 雲溪荘を活用して武石を活性化したい。

- ・ 市民の利用ならいいが、市外の人が多く使うのに、市の税金を入れるのはどうかと思う。
- ・ いろいろな人に聞いてみたが存続という意見はなかった。
- ・ 旅館としてではなく福祉的な

ことで温泉を活用したらどうか。

- ・ 若い年代が利用するとは思えない、日帰り温泉など運営方向を変えたらどうか。
- ・ など、様々な意見が出されました。

清住章雄会長は、「全体的には温泉を残してほしいという意見が少し多いと思った。武石は袋小路なので、人を呼べる観光資源をなくしたくないから存続を願う意見が出ると思う。雲溪荘はあり方や経営主体など根本から考えなければならぬ時期にある。今年度さらに協議を深め、来年には地域協議会として一定の方向を出したい」とまとめた。

【その他】

●市災害メール配信について

市で進めているメール配信の内容と登録方法の説明の後、希望した委員の携帯電話に登録手続きを行いました。

【地域協議会関連事業】

●「まちづくり講演会」が実施され、地域協議委員が参加しました。

11月12日（土）市マルチメデア情報センターにおいて「これからの地域づくりに向けて」と題して、千葉大学法経学部の開谷昇准教授の講演がありました。武石地域協議会からも大勢の委員が参加し、市民参加の地域づくりについて学びました。



武石のいいところみ～つけた♪

依田窪南部中学校編

～ 保育園児との交流 ～



小さい子どもとの関わりや、地域とのつながりを学習するため、10月14日・11月1日、依田窪南部中学校の三年生と保育園児との交流がありました。園児と交流するために、家庭科の授業でお手玉や軍手指人形を制作。お手玉は地域の方に作り方を教えていただきました。初めは少し照れながら園児と接していましたが、お手玉やゲームなどをするうちにうちとけ、楽しく交流ができました。帰り際、園児に抱きつかれる場面などもあり、短い時間の中でしたが、生徒たちは園児とふれあい、良い体験ができました。



